



立山化成株式会社

社会的責任

(CSR(Corporate Social Responsibility))

持続可能な開発目標

(SDGs(Sustainable Development Goals))

2018年03月23日 制定

2021年08月01日 改訂

経営者の承認:

2021 年 08 月 01 日

片口真

改訂履歴

改訂年月日	改訂箇所	改訂内容	承認
2018,03,23 (第1版)	新規制定	—	片口社長 18',03,23
2021,08,01 (第2版)	1. 2. 2.11. 2.12. 2.13. 2.14. p6~22	社会的責任と持続可能な開発目標の記載追加。 企業行動規範に運用組織の記載追記。 リスクマネジメント(危機管理)の記載追加。 品質・安全性の記載追加。 情報セキュリティの記載追加。 経営者の責任の記載追加。 SDGs アイコンの追記。	片口社長 21',08,01

目次構成

目次	頁
1. 社会的責任と持続可能な開発目標	4
2. 企業行動規範と運用組織	5
2.1. コンプライアンスの徹底(法令の遵守)	6
2.2. 人権の尊重	9
2.3. 環境への対応	11
2.4. 従業員の就業環境整備	12
2.5. 顧客からの信頼獲得	13
2.6. 取引先との相互発展	14
2.7. 地域との共存	15
2.8. 出資者・資金提供者の理解と支持	16
2.9. 政治・行政との健全な関係	17
2.10. 反社会的勢力への対処	18
2.11. リスクマネジメント(危機管理)	19
2.12. 品質・安全性	20
2.13. 情報セキュリティ	21
2.14. 経営者の責任	22

1. 社会的責任と持続可能な開発目標

立山化成株式会社は、創業当初から顧客満足をモットーに活動してきました。企業活動の製品を作る上で、安全操業、品質重視の視点から行動し、社員、家族、世の中をいかに良くするかを取り組んできました。

当初、「創造実践」をキーワードに、新しいテクノロジーの開発に挑み、ISO9001 及び c-GMP 管理で裏打ちされた徹底した製造管理、品質管理と品質保証体制のもと、医薬品原薬(API)、医薬品中間体、電子材料等の有機化合物を幅広く製造して企業を通じて社会に貢献してきました。

今後は世界的な優先課題及び世界のあるべき姿を明らかにし、一連の共通の目標を軸に、地球規模の取り組みを進めていくうえで、自社における優先課題を決定して、目標を定めて経営へ統合しながら進める必要があります。

そして、地球環境を守るため、効率的な生産技術と適切な公害処理施設の充実を図り、安全衛生・環境保全への配慮をし、私たちは、常に品質・レスポンス・環境を考え、高付加価値化製品の開発を、創意と実行力により合理化、効率化に努め、人権の尊重、法令・国際ルールへの遵守はもとより、高い倫理観を持った事業活動を通じて、社会の持続可能な発展に貢献するために、企業がその実現のために遵守すべき事項を、企業行動規範に定めるものです。

更に社会的責任(CSR(Corporate Social Responsibility))に持続可能な開発目標(SDGs(Sustainable Development Goals))のアイコンを合わせて記載することとした。

2. 企業行動規範と運用組織

この企業行動規範は、「企業の社会的責任(CSR: Corporate Social Responsibility)」を果たすため、立山化成株式会社の全ての従業員が遵守すべき最も基本的な企業行動規範(人権の尊重、法令・国際ルールの遵守はもとより、高い倫理観を持った事業活動を通じて、社会の持続可能な発展に貢献すること)を定めたものである。

立山化成株式会社は、いろいろな化学薬品を使用して新たな化学製品を製造しています。自らが取り扱っている化学薬品は製品を作るための方法として必要としています。これらの化学薬品は多くの危険性を持っていてこの化学薬品を選択した時点から企業の社会的責任が発生していることを社員一人一人が自覚し、自らこの企業行動規範を遵守することを宣言するとともに、立山化成株式会社の全ての従業員は、この企業行動規範を読み理解し、そして遵守することを要請するものである。

そしてそれぞれの行動規範項目について持続可能な開発目標(SDGs (Sustainable Development Goals))に向かい、一つ一つ計画立てて継続を続けて行くものである。

(注)「CSR」とは、企業の社会的責任のことであり、企業の責任を従来からの経済的・法的責任に加えて、企業に対して利害関係のあるステークホルダー(顧客、株主、従業員のほか、取引先、地域住民、金融機関、政府 etc)にまで広げた考え方である。

(注)「従業員」とは、立山化成株式会社の役員、社員、契約社員を含むものである。

(注)「SDGs」とは、持続可能な世界を実現するための17のゴール・169のターゲットから構成され、企業は本業そのものにSDGsに考え方を組み込むことを前提にしていてボランティアや寄付ではなく、事業を行い、企業が収益をあげることが同時に社会や地球環境の改善につながるようなビジネスモデルとして地球上の「誰一人として取り残さない」ことを誓って行うこととする。

なお、派遣労働者についても、この行動規範を遵守するものとする。

運用組織は「CSR及びSDGs」推進のために各所属長は推進委員として協議を行い、活動を行う。事務局は経営者の下に置き、経営者が推進責任者を任命する。

2. 1. コンプライアンスの徹底(法令の遵守)



法令を遵守し、社会倫理に適合した良識ある活動及び健全な事業活動を推進して参ります。

立山化成株式会社は、有機性化学薬品を使用し、製造を行う会社であり、企業活動を行う法令遵守を確実にするためには、法令に必要なその責任者を明確にします。そのために、自社の実情に応じたかたちで、社内規定やマニュアル等を作成・整備し、啓発・教育活動を通じて社内へ浸透させます。

なお、上記に反する行為を知った場合は、直ちにその旨を上司あるいは適切な担当部門に連絡し対応します。

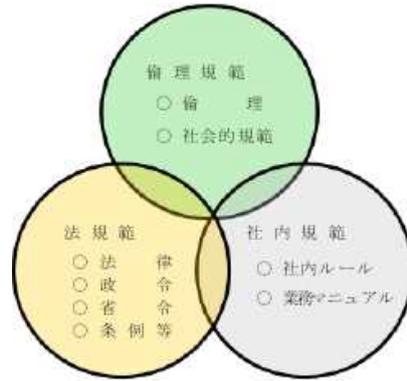
法令以外の社会的ルール・商慣習などについても、事業活動にあたっては法令に準じて尊重し、行動します。ただし、これはあくまで公正なルール・公正な商慣習であることが前提です。昔からの商慣習等であっても、公正なものといえるのか、現在の法令の条項あるいは趣旨に合致しているのかを絶えず検証し、節度ある行動をします。

また、判断に迷ったときは、次の5つの質問について、自問し行動します。

判断に迷った場合の5つの質問

- ① 「それ」は、法律に触れないだろうか。
- ② 「それ」は、公正で公益の増進に資することだろうか。
- ③ 「それ」をすると良くないと感じないだろうか。
- ④ 「それ」が社会一般に知れたらどうであろうか。
- ⑤ 「それ」が正しくないわかっているのにやっていないだろうか。

参考 コンプライアンスで遵守すべき規範



定める責任者に関する情報等：

- | | |
|--|-------------------|
| ① 産業医 | ② 総括保安管理者 |
| ③ 公害防止統括者 | ④ 危険物・毒劇物保安統括管理者 |
| ⑤ 保安管理者(安全管理者、衛生管理者、防火管理者、公害防止管理者、毒劇物管理者、安全運転管理者) | |
| ⑥ 各種(ガス溶接、ボイラー取扱、乾燥設備、はい、特定化学物質等、酸素欠乏危険、有機溶媒)作業主任者 | |
| ⑦ 毒劇物取扱責任者 | ⑧ 危険物取扱者 |
| ⑨ 化学物質管理統括者 | ⑩ 化学物質管理責任者 |
| ⑪ 火元責任者 | ⑫ 自衛消防隊長 |
| ⑬ 危険物施設保安員 | ⑭ 電気管理技術者 |
| ⑮ エネルギー管理統括者 | ⑯ エネルギー管理者(又は管理士) |

不適切な利益供与及び受領の禁止:すべてのステークホルダーとの関係において不適切な利益の供与や受領を行わず、透明性の高い関係を築きます。

情報の公開:法令等で公開を義務付けられているか否かに関わらず、社会からの要請に応じて必要な情報を適切に公開します。

知的財産権の尊重:事業活動を通じて得られた成果を知的財産権として保護し、有効に活用するとともに、他者の知的財産権を尊重します。

公正な取引:ビジネスにおいて公正・透明・自由な競争を妨げる行為を行いません。

不正行為の予防:不正行為を予防するための活動を行い、早期に発見、対応するための制度を整えます。

反社会勢力との関係:反社会勢力とは一切関係を遮断します。

優越的地位の濫用の禁止:優越的地位を濫用することによって、取引先に不利益を与える行為は行いません。

適切な輸出管理:法令等で規制される技術や貨物の輸出に関しては、適正な管理と申告を行います。

2.2. 人権の尊重



あらゆる事業活動の場において、すべての人の人権を尊重するとともに、差別や個人の尊厳を傷つける行為を排除します。

立山化成株式会社はすべての職場で、すべての人々が、安全で健康に働くことができるようにします。

差別の禁止－性別、年齢、出身地、国籍、人種、民族、信条、宗教、身体的特徴、障がい等による差別や個人の尊厳を傷つける行為を行いません。

強制的な労働の禁止－すべての従業員をその自由意思において雇用し、強制的な労働は行いません。

児童労働の禁止－最低就業年齢(15歳又は義務教育を修了する年齢の内、最も高い年齢)に満たない児童を雇用せず、また若年労働者の発達を損なうような就業はさせません。

労働時間－法定限度を超えないよう、労働者の労働時間、休日・休暇を適切に管理します。

適切な賃金－労働者に法定最低賃金以上を支払い、不当な減額は行いません。

非人道的な扱いの禁止－労働者の人権を尊重し、体罰、精神的・肉体的な抑圧、言葉による虐待など、非人道的な扱いを禁止します。

各種ハラスメント(セクシャル・ハラスメント、パワー・ハラスメントおよび妊娠・出産、育児・介護休業等に関するハラスメントを含むがこれに限らない)を職場から排除するとともに、職場環境を悪化させることのないよう予防します。

従業員の団結権－労働条件、労働環境、賃金水準等の労使間協議を実現する手段として労働者の団結権を認めます。

一人ひとりのプライバシー、個性、多様性を尊重し、仕事と生活の調和をはかります。また個人の人格尊重の理念の下、個人情報に慎重に取り扱われるべきものであることに鑑み、その適正な取り扱いに十分留意するとともに、個人のプライバシーが侵害されることのないよう細心の注意を払うこととします。

2.3. 環境への対応



美しい地球を未来に遺すことを人類共通の課題と捉え、人と自然をつなぎ、積極的に地域環境および地球環境の保全に取り組みます。

設備等の設計にあたっては、省資源・省エネルギーを積極的に提案し、低炭素社会の実現に貢献します。

すべての職場において、公害防止や環境汚染予防、さらに省資源、省エネルギー、産業廃棄物の削減、リサイクルの推進(回収溶媒の使用)及び生態系の保護に取り組みます。

企業活動にあたっては環境に与える影響を常に考慮し、環境関連法規制を遵守するとともに、積極的に環境問題に取り組みます。

2. 4. 従業員の就業環境整備



多様な人格・個性が尊重される職場づくりを行うとともに、安全で働きやすい環境を確保し、ゆとりと豊かさ、自らの成長を実現します。

雇用および処遇における国籍・性別・年齢などによる差別を行わず、機会の均等を図ります。また、職場におけるセクシャル・ハラスメントの発生を防止します。

従業員の個性を尊重し、従業員の自立的なキャリア形成や能力開発を支援する育成体系を行います。

労働基準法・労働安全衛生法等を遵守し、それぞれの職場での安全を確保するため、従業員には安全及び衛生に関する教育を行い、さらに外部や社内の受講教育による安全及び衛生教育を行います。

従業員の安全意識向上のため、経営トップ、管理職者及び現場担当者が行う、安全パトロール及び衛生パトロールを、定期的を実施しています。また PM 活動を通じて衛生的な職場作りを行います。

安全で働きやすい職場環境を実現するとともに、従業員の健康増進を支援しています。

社員の個人情報には業務以外の目的に利用しません。また、その管理は関連法令に従い厳重に行い、関係者以外に漏洩しません。

会社の就業規則その他の社内諸規則等を遵守し、与えられた権限を濫用しません。

2.5. 顧客からの信頼獲得



お客様に満足していただける「安全・安心で品質の高い製品」を製造し、またそのサービスを提供し、社会の信用を獲得します。

お客様のニーズを的確にとらえ、叡智、ノウハウ、技術力を組織的に結集させるとともに、個々人の多様な能力をもって、新たな価値を有する魅力的な製品を提供します。

お客様から求められる医薬品原薬の安全・安心の確保と、品質の高い製品のために医薬品の製造管理及び品質管理(GMP (Good Manufacturing Practice) 管理)を守った製品を製造するために全ての従業員が取り組むとともに、社会・環境にやさしい製品を実現します。

2.6. 取引先との相互発展



立山化成株式会社は、法令・規則や商道徳を遵守し、自由で公正な競争を基本とした企業活動を行います。

企業活動を行うにあたっては、必要な許認可の取得や諸届の提出等、関係法規を遵守します。

独占の禁止、公正な競争、公正な取引に関する法令や規則を遵守します。

購買・調達活動は公平・公正に行い、癒着と取られるような行為や調達先に不当な負担を強いるような行為は行いません。

立山化成株式会社は、接待や贈答の授受については、社会通念を逸脱した行為を行いません。

お取引先への贈答・接待は過剰を避けるとともに、お取引先から過剰な接待や社会儀礼の範囲を超える贈答を受けません。

2.7. 地域との共存



企業活動を通じて、地域社会とのコミュニケーションに努め、良好な関係を維持し、発展させます。

地域の健全な発展と快適で安全・安心な生活に資する活動として事故ゼロを目指すと共に、災害発生時の緊急連絡網及び役割分担表を整備するなど、災害時に対応できる体制を整え、また関係機関と協力しながら、訓練を行い、地域との共存をはかります。

工場周囲の美化運動及び工場内の整理整頓を行い、また地域住民に対して、要望があれば、工場見学を含む事業内容に対して理解を深めてもらう機会を提供します。その際、工場にAED(自動体外式除細動器)を従業員だけでなく、地域住民にも利用できるように公開いたします。

2. 8. 出資者・資金提供者(株主)の理解と支持



立山化成株式会社は、適切なタイミングで十分な情報開示を行うことで説明責任を果たし、出資者・資金提供者等からの信頼と支持を得られるよう努めます。

誠実かつ健全な企業経営を継続することで、社会から信頼される企業となるよう努力します。

年度決算及び事業計画について、年一回程度、出資者・資金提供者に説明します。
(株主総会招集通知での案内を含む)

株主総会・取締役会等が開催された場合は、議事録を作成し、保管しています。

2.9. 政治・行政との健全な関係



立山化成株式会社は、政治・行政とは健全かつ透明な関係を維持し、不当な癒着や公正さを欠く活動を行いません。

政治資金規正法・公職選挙法等に則り、経営基盤に見合った適正な寄付・献金の基準に合致しているか、会計責任者・担当者や外部専門家に判断を仰ぎ行っています。

化学薬品を扱う企業として、核兵器・生物化学兵器などの大量破壊兵器・通常兵器の製造・使用に関連する製品や技術の輸出に関する法令を遵守します。

輸出入取引に関しては日本及び輸出入管理に関する各国の法令や関税法等を遵守します。

2. 10. 反社会的勢力への対処



社会秩序や安全に脅威を与える反社会的勢力、団体に対しては、毅然とした態度で対処し、あらゆる関係を持ちません。

反社会的勢力や団体からの不当な要求や威嚇には警察と連携して対応し、それらに妥協しません。

相手方が反社会的勢力か否かについて常に注意を払います。

2. 11. リスクマネジメント(危機管理)



生命、身体の安全を守るため、発生する可能性のある災害・事故などを想定し、緊急時の対応策(事業継続計画:BCP)を準備します。

防災に努めるとともに、火災、災害、感染症等の緊急事態における危機管理体制を整備します。

潜在するリスクの低減を図り、重大事故の防止に努めます。

2. 12. 品質・安全性



適切な品質管理体制を構築し、製品の品質と安全性の確保を図ります。

製品情報の提供－お客様の信頼と満足を得るために、製品に関する正しく的確な情報を提供します。

適切なデータ管理－品質試験などを適正な手順で行うと共にデータ管理を適切に行い、データの捏造、改ざんなどを行いません。

苦情への対応－お客様からの問い合わせ、苦情などには、誠実に対応し、お客様の声を製品品質向上に活かしていきます。

2. 13. 情報セキュリティ



適正な情報セキュリティを推進し、顧客情報、個人情報、技術・製品等の情報資産を適切に取扱います。

コンピューターネットワーク上の脅威に対する防御策を講じます。

顧客、第三者、従業員の個人情報は、適切に管理し、保護し、情報漏洩防止を徹底します。

顧客や第三者から受領した機密情報は適切に管理し、保護します。

2. 14. 経営者の責任



経営者は、本指針のもと経営に当たり、グループ全体で課題に取り組みます。

また本指針の精神に反し、社会からの信頼を失うような事態が発生した場合は、問題解決、原因究明、再発防止に努め、その責任を果たします。